



奥丹波・笛路村の里山で農業を軸に事業展開

丹波市

株式会社 竹岡農園



私たちの思い

日本の原風景が残る笛路村は中山間部に位置しています。耕作地が狭いので、農作物での生産に付加価値を付けようと、農家民宿(写真下)や農業体験、レストランなどの事業も展開しています。

私たちのこだわり

丹波市山南町谷川の山里・笛路村で、源流地域のきれいな水で農薬や化学肥料を使わず、独自の酵素で土づくりをし、野菜や丹波栗、丹波黒枝豆、丹波大納言小豆などを育てています。

おもな作物

露地野菜、丹波栗、丹波黒枝豆、丹波大納言小豆などを栽培しています。



外観



農業に付加価値を付けたいと レストラン、民宿、酵素温熱風呂も運営

日本の原風景が残る里山で、農業を軸にレストラン、民宿、酵素温熱風呂を展開している「竹岡農園」。山間地の棚田で、農薬や化学肥料を使わずに野菜を栽培。源流地域の生活排水や塩素が混じらない水をまいて育てた野菜を“源流野菜”として、直接消費者に届けて、民宿やレストランでも提供しています。

2017年に始めた農家民宿では、菜食料理と里山の暮らしを味わえるほか、畑で農業体験もでき、企業研修や大学生のワークキャンプなどにも利用されています。米ぬかを多様な微生物で発酵させた酵素温熱風呂もあり、その酵素は、畑にまいて循環させています。

働く人

INTERVIEW



榎木 舞さん(31歳)

大阪で飲食業などを経験し、自然が好きで農業に興味があり、笛路村へ来ました。ここは村の人同士の繋がりが強いですね。農業とレストランのメニュー作りもしています。



高石 里佳子さん(20歳)

農業がしたくて、2018年6月に入社しました。土づくり、種まき、草刈りなどが毎日の作業です。自分で育てた野菜を民宿のお客さんに“おいしい”と言ってもらったときが、うれしい。

INTERVIEW OF TOP



里山を美しく保全していくために 価値を高め、魅力を発信

株式会社 竹岡農園 代表取締役 竹岡 正行さん

1ターンで農業を始めたのが2010年。2018年に法人化しました。民宿、レストランの開業に続き、NPO法人を立ち上げ、里山ようちえん「ふえっこ」(認定外)も始めました。里山を保全するため、総合的な価値を高め、魅力を発信していきます。

所在地	〒669-3131 丹波市山南町谷川2787-1
電話	0795-71-1240
FAX	0795-71-1240
HP	http://www.takeokafarm.com/
事業内容	農産物の生産・加工、農家民宿、酵素温熱風呂、飲食事業
設立	2018年
資本金	200万円
売上高	1000万円
従業員数	4名





奥丹波の自然にやさしい農場でおいしい鶏卵を

丹波市 有限会社 たまごの郷



私たちの思い

空気と水がきれいな丹波の自然の中で、健全な鶏を育て、よい卵を提供したいと、茶色い羽毛のボリスブラウン種約6万羽を育てています。

私たちのこだわり

畜産GAPの認証を県内で初めて取得。徹底的に衛生管理された養鶏場で、県産飼料米に魚の煮汁を合わせた餌、ヨモギ粉、海藻などを与え、濃い味わいの卵を生産しています。

おもな商品

卵を自社ブランド「奥丹波の卵」として販売、7月からジェラート、鶏肉の製造・販売も開始しました。



外観



働く人

INTERVIEW



荒木 勇策さん(33歳)

兵庫県立氷上高等学校農科で畜産を学び、最初は牛に携わりました。ここに入って約9年、鶏の飼育全般を任せられています。出社したら一番に鶏舎を見回って、鶏の健康状態を丁寧に確認します。機械のトラブルがあれば補修などもします。牛から鶏と携わり、今では「この道に進んでよかった」と感じています。

INTERVIEW OF TOP



従業員の働く環境や地域への配慮を見直し 地域との繋がりを大切に

有限会社 たまごの郷 場長 小島 政徳さん

暑さが苦手な鶏への猛暑対策など、養鶏は日々勉強です。畜産GAP認証取得は、従業員の労働環境や周辺への配慮を考えるよい機会でした。

近隣の農家に発酵肥料を供給したり、地元小学校の社会学習受け入れを続け、地域との連携も大切にしたいですね。

所在地	〒669-3622 丹波市氷上町 三原151
電話・FAX	0795-82-2266
事業内容	鶏卵の製造販売
設立	2008年
資本金	300万円
売上高	1億9000万円
従業員数	10名



丹波市で有機野菜を生産、都市部で提供

丹波市

株式会社 パブリック・キッチン



私たちの思い

新たな6次産業化の仕組みを作りたいと、丹波市春日町で有機野菜をつくり、大阪・宝塚・丹波にある自社が運営するカフェレストランで提供しています。

私たちのこだわり

カフェメニューでは有機野菜を使うことにこだわり、有機野菜の栽培を始めました。有機JAS認証を取得しています。

おもな作物

露地とビニールハウスで常時20種類の野菜を有機栽培しています。年間を通して、なす、トマト、かぼちゃ、こまつななど、約70種類になります。個別宅配も対応。



外観



大阪と宝塚・丹波でカフェレストラン4店舗展開 生産から提供までの一貫経営で無駄をなくす

「パブリック・キッチン」は丹波市春日地区の畠で有機野菜を栽培し、大阪で2店舗、宝塚・丹波で各1店舗運営するカフェレストランで提供しています。生産から提供までを一貫して手掛けて、流通ルートに乗せないため、少し傷があつたり不揃いの野菜も使用でき、無駄がありません。

代表の山口圭司さんは30歳前に、大阪で有機野菜のカフェレストランの会社を起業。仕入れ先を探すうちに丹波の農家と繋がりができ、就農しました。2011年「パブリック・キッチン」を設立し、2014年の農業参入をきっかけに丹波市に移住。農作業のIT化を進め、効率化することで経費を抑えました。今後は少しづつ畠を増やして、5年後にはカフェ10店舗を目指します。

働く人

INTERVIEW



富永 絵穂さん(21歳)

大阪市出身。高校の北海道修学旅行でファームステイを体験し、農業に興味を持ったのがきっかけで長野県農業大学校に進みました。2019年卒業し、4月から「パブリック・キッチン」で農業全般に携わるほか、カフェのスタッフとしても働いています。

有機農業をやってみたかったし、カフェで「有機野菜は味が濃くおいしい」とお客様の声が聞けるのも、励みになります。

INTERVIEW OF TOP



休みが取れ、子どもを養える収入で 若い世代が職業として選択する農業に

株式会社 パブリック・キッチン

代表者 山口 圭司さん

私たちがつくった農作物やサービスを、都市部の人たちにもっと提供していきたい。
若い世代が農業を職業の選択肢の一つとすることが当たり前になるように、普通に休みが取れ、子どもを養えるだけの収入がある農業の仕事を増やしたいと思っています。

所在地	〒669-4132 丹波市春日町野村2032
電話	0795-74-0550
HP	https://pkp.co.jp/
事業内容	有機農産物の生産・加工・販売、直営店(カフェレストラン)運営
設立	2011年
資本金	1000万円
売上高	1億円
従業員数	15名





緑の山々と清流の里、霧深い青垣町でおいしい米づくり

丹波市

有限会社 まるきん農林



社

訓「人つくれ、土つくれ、米つくれ」を大切に
チームワークで継続できる会社づくり

経営面積19.7haのうち15haが水稻と、米づくりに取り組む「まるきん農林」。恵まれた自然条件を生かして、丹波市青垣町ほか近隣の約60人の農家と「まるきんグループ」を作り、グループ全体約60haで栽培基準を揃えた「丹波ひかみ米」をつくっています。

父親に続く二代目の堀 謙吾さんは、社訓「人つくれ、土つくれ、米つくれ」を大切に、家族経営から「入ってよかったと思われる会社に」と法人化。さらにJ-GAP認証取得を目指し、従業員の資格取得、労働環境改善にも取り組みます。新品・中古農業機械販売・修理と経営の多角化も進めています。

働く人

INTERVIEW



足立 雅典さん(24歳)

大学農学部を退学して地元に戻り、2018年3月に入社しました。専門が農業土木だったのですが、実際は作物を育てることをしたかった。今は毎日が勉強。ほ場での作業は、一つひとつの作業の役割を理解するよう心がけています。農業はきついといいうイメージがありますが、休みもきちんとあり、ありがとうございます。

INTERVIEW OF TOP



大切にしたい“丹波ブランド”
地域農業者全体の盛り上げが必要

有限会社 まるきん農林 代表取締役 堀 謙吾さん

2018年に社長になり、企業を発展存続させるのが役目と思い、「1年1社新規顧客開拓」と営業もがんばっています。丹波ブランドを盛り上げるために農業者全体の盛り上がりが大切。私も地域のための活動に積極的に取り組んでいます。

私たちの思い

安心でおいしいお米を消費者に届けたいとの思いで、中国山脈から湧き出る清流と、霧深い気候を生かして、米づくりをしています。

私たちのこだわり

化学肥料・農薬の使用を減らし健康な土壤づくりをして、おいしいお米を提供しています。1万袋対応の玄米低温倉庫があるため、集荷したお米を新鮮なまま年中供給できます。

おもな作物

水稻は丹波ひかみ米「コシヒカリ」「あいがもコシヒカリ」(有機JAS栽培米)、「ミルキークイーン」、「夢ごこち」。ほかに丹波大納言小豆をつくっています。



外観



所在地	〒669-3834 丹波市青垣町中佐治735-1
電話	0795-88-0230
FAX	0795-80-6500
HP	http://www.marukin1.com
事業内容	農産物の製造・販売、 作業受託、 新品・中古農機販売・修理
設立	2002年
資本金	500万円
売上高	1億円
従業員数	5名



インターンシップ
随時受け付け。詳細は問い合わせを。



丹波エリアで循環型社会の創造を目指す

丹波市

有限会社 ワタミファーム 丹波農場



私たちの思い

ワタミグループの外食事業に「より安全・安心なものを届けたい」と、有機農業に取り組んでいます。全国に展開する農場から新鮮でおいしい野菜を供給しています。

私たちのこだわり

地域に根差した循環型社会を創造し、豊かなライフスタイルに貢献できることを目指して、有機農業を積極的に推進しています。

おもな作物

レタス、だいこん、たまねぎ、にんにくなどを栽培しています。



外観



地

域に根差した有機栽培を全国で展開

丹波エリアの6次産業化モデルの取り組みも

地域に根差した有機農業を全国で発展させようと、「ワタミファーム」は2001年に設立。現在は全国11カ所で農場・牧場を展開しています。丹波農場は2013年から「ワタミ手づくり厨房」丹波センターに併設し、営農を始めました。当初0.5haだった畠が今は7倍の3.5haに。主要作物であるたまねぎの一次処理(皮むき)を自社で行い、新鮮な農作物の価値を高めてグループ会社に供給しています。このたまねぎの外皮やセンターで出る野菜残渣、近隣の市島町南自治会の森の木材チップなどを堆肥化し肥料に。間伐材は農場の看板などで使用するなど、丹波エリアの6次産業モデルに取り組んでいます。

働く人

INTERVIEW



北村 誠浩さん(34歳)

企業が取り組んでいる農業に興味があったので、ワタミグループに2010年に入社しました。居酒屋や工場でも働き、今農場で3年目です。大学では生物学を専攻。食料をつくる仕組みを知り、自分でつくれるようになりたいと、農業を希望しました。今の仕事は、農場運営全般です。農業は毎年変わる気候が相手で、日々が勉強です。起きてしまった現象に対して、次はどう手を打つか。予測通りにうまくいくと達成感があり、おもしろいですね。

INTERVIEW OF TOP



黒にんにくなどの商品化 製造過程で森林間伐材の利用も

有限会社 ワタミファーム
取締役
丹波農場・京丹後農場 農場長

部谷 文一さん

丹波農場独自の取り組みとして、黒にんにくの商品化に力を入れています。にんにくを乾燥するときには、近隣の森の間伐材を利用して、エネルギーの循環の一役を担っています。有機農業者グループとの連携など、地域との繋がりを大切にしています。

所在地	〒669-4314 丹波市市島町南1105-1
電話	0795-80-3011
FAX	0795-80-3010
HP	http://www.watamifarm.co.jp/
事業内容	野菜、加工品の生産、販売など
設立	2013年
資本金	300万円
売上高	5560万円
従業員数	14名





丹波篠山の魅力とおいしさを世界へ伝えたい

丹波篠山市 株式会社 アグリヘルシーフーム



私たちの思い

美しい自然に囲まれた丹波篠山でしかつくれない農作物を自分たちの手でつくり、食を通じて丹波篠山の魅力とおいしさを世界中に伝えたいと考えています。

私たちのこだわり

肥料を控えめにして、おいしいお米・黒大豆をつくっています。少量多品目の野菜は、基本的に農薬・化学肥料を使わず、土中のミネラルなどを吸収させ、濃厚な味わいに育てます。

おもな作物

丹波篠山米、丹波黒大豆、丹波黒枝豆、丹波篠山野菜など。



外観



Web、直売所、高速道路SAなど販売力に強み 安心・安全でおいしい農作物を食卓へ

昼夜の寒暖差が大きな丹波篠山。「アグリヘルシーフーム」はこの地で家族経営型農業を営んでいた、現代表・原智宏さんの父親が2001年、法人化しました。

丹波篠山でしかつくれない農作物にこだわる同社は、「東の新潟魚沼、西の丹波篠山」と評価を受けるほどの丹波篠山米コシヒカリや、名産の黒大豆、季節の野菜を栽培。牛ふん堆肥を使用し、化学肥料・農薬は極力使わず、ミネラル分を豊富に含んだ水と土壤の力でおいしい農作物を育てます。ショッピングしやすいホームページをはじめ、地元の直売所、高速道路SAなど、消費者に直接届くことができる販売力も魅力です。

働く人 INTERVIEW



庄司 一真さん(28歳)

兵庫県立播磨農業高等学校から兵庫県立農業大学校へ進学し、2013年に入社。
主任として水稻と黒大豆の管理、オペレーター作業を中心に日々奮闘しています。

最近は部下も増え、作業の指導やそのやり方についてコミュニケーションを密にとりながらして、社内が円滑に回るように意識しています。

INTERVIEW OF TOP



父から誘われて就農、農業経営へ 地域での活動も糧に

株式会社 アグリヘルシーフーム代表 原 智宏さん

大学在学中、父親から「大規模農業に転換するから」と誘われたのがきっかけで、就農しました。5年後に父が病に倒れ、代表に。チャレンジ精神をいつも持ち、地域の活動や勉強会に積極的に参加し、農業経営の糧にしています。

所在地	〒669-2223 丹波篠山市味問奥1313
電話	079-506-2794
FAX	079-594-5655
HP	https://agri-hf.jp/
事業内容	水稻、黒大豆、野菜の生産、販売など
設立	2001年
資本金	300万円
売上高	1億2000万円
従業員数	10名

インターンシップ
通える範囲で受け入れ可能。詳細は問い合わせを。





丹波篠山ブランドの米と豆を中心に栽培

丹波篠山市

株式会社 丹波篠山大内農場



私たちの思い

昼夜の気温の寒暖差が大きい気象条件と、消費地に近いという、恵まれた立地条件の丹波篠山市で、先人が築いた丹波篠山ブランドの米と豆を中心に農業経営を行っています。

私たちのこだわり

今田町のきれいな水を生かし、畜産農家とも連携して土づくりを行い、安心でおいしい米と豆をつくりています。とくに丹波篠山コシヒカリと丹波篠山黒豆を中心に栽培しています。

おもな作物

丹波篠山コシヒカリ、丹波篠山黒豆、丹波篠山黒枝豆



外観



生産・加工から販売まで、観光農園の経営も畜産農家と連携しての循環型農業

「丹波篠山大内農場」は、丹波篠山の農業に適した気候ときれいな水を生かし、丹波篠山コシヒカリと丹波篠山黒豆(丹波篠山黒枝豆)を中心に栽培。畜産農家と連携して、稻わらを牛の餌にし、牛ふん堆肥で土づくりをする、循環型農業を行っています。農産物だけでなく、酒米(さかまい)からつくりだす日本酒などの加工品の生産販売にも力を入れています。

2007年からは黒大豆枝豆狩りができる観光農園を開設。収穫期の10月には、舞鶴自動車道丹波篠山口インターから約20分の好立地もあって、毎年2万人が来園するほどの人気です。観光農園では新米の直売も行っています。

働く人

INTERVIEW



真継 明宏さん(31歳)

2018年9月からこの会社で働き、2019年3月正社員になったばかりで、今は農作業を覚えていくところです。耕作放棄地が増えている今、日本の原風景を保てるよう、がんばりたい。



上田 浩一さん(47歳)

ボランティアから就農。地域の基幹農家での仕事は、勉強することばかりです。観光農園の枝豆収穫は、丹波篠山ブランドを守るためにもお客様に良い印象を持ってもらえるようがんばります。

INTERVIEW OF TOP



年中通じて栽培できる作物の導入を検討 地域の農業者と連携

株式会社 丹波篠山大内農場 代表取締役社長 大内 正博さん

米と豆を基幹に、年間を通じて栽培できる作物の導入や、観光農園も年間営業など、課題解決のための構想を考えています。今田町の有志農家で行っているにんにくの栽培など、農業者で連携し、地域活性化にも積極的に取り組んでいきたい。

所在地	〒669-2163 丹波篠山市今田町本荘395
電話	079-597-2517
FAX	079-597-3519
HP	http://ouchi-farm.com/
事業内容	農業生産・作業受託・観光農園
設立	2008年
資本金	150万円
売上高	1億円
従業員数	9名



インターンシップ

通える範囲で受け入れ可能。詳細は問い合わせを。



休憩地活用から6次産業まで、持続的発展を目指して

洲本市

小山田村農場 株式会社チューリップハウス農園



私たちの思い

先人たちが切り開いてくれた中山間地の農業を守り、持続的に発展させることが目標です。社員の生活が安定し、向上することが地域を活性化させることにつながる考えています。

私たちのこだわり

農業関係のほか、異業種交流によって違った角度からの考え方や意見を取り入れ、経営に反映させています。今後は作付状況などが把握できる管理システム「スマートアシスト」を導入し、生産を進化させていきます。

おもな作物

米年間4t、たまねぎ年間70t、他にブロッコリー、はくさい、キャベツ、ピーマン、万願寺しじとう、なす、かぼちゃ、にんじんをJAや青果会社、市場、スーパー、レストランなどへ出荷。



外観



「農」から「食」まで幅広く手がけ 村の発展に貢献する若き農業人たち

洲本市五色町の小山に囲まれた中山間地に「小山田村農場 株式会社チューリップハウス農園」があります。「村のおじいちゃん、おばあちゃんから農業を教えてもらった」と語る高詰雅秀代表は、村を活性化させたいという思いで、昔は朝廷に献上していたという「鮎原米(キヌヒカリ)」を中心に、米1ha、野菜3haを特別栽培しています。敷地内の農園レストラン「夢藏」では、フランスの三ツ星レストランで修業したシェフが、採れたて野菜を使ってイタリアンやフレンチを提供。有機たまねぎたっぷりカレーやはっさくサイダー、季節のジャム、ドレッシングなどの加工品を観光施設で販売するなど、農業を核とした6次産業で、その名を広めています。

働く人 INTERVIEW



井手 康介さん(29歳)

広島県の普通科高校生だった頃、当時の先生が高詰代表を紹介してくれて淡路島へ。設立当初から約10年間働いています。さまざまな作物の栽培と神戸・新開地にある直売所で週2回店長を任せもらっています。消費者と会話し、ふれ合うことで人気の野菜や改善点に気が付いたりできるのがプラスになっています。

INTERVIEW OF TOP

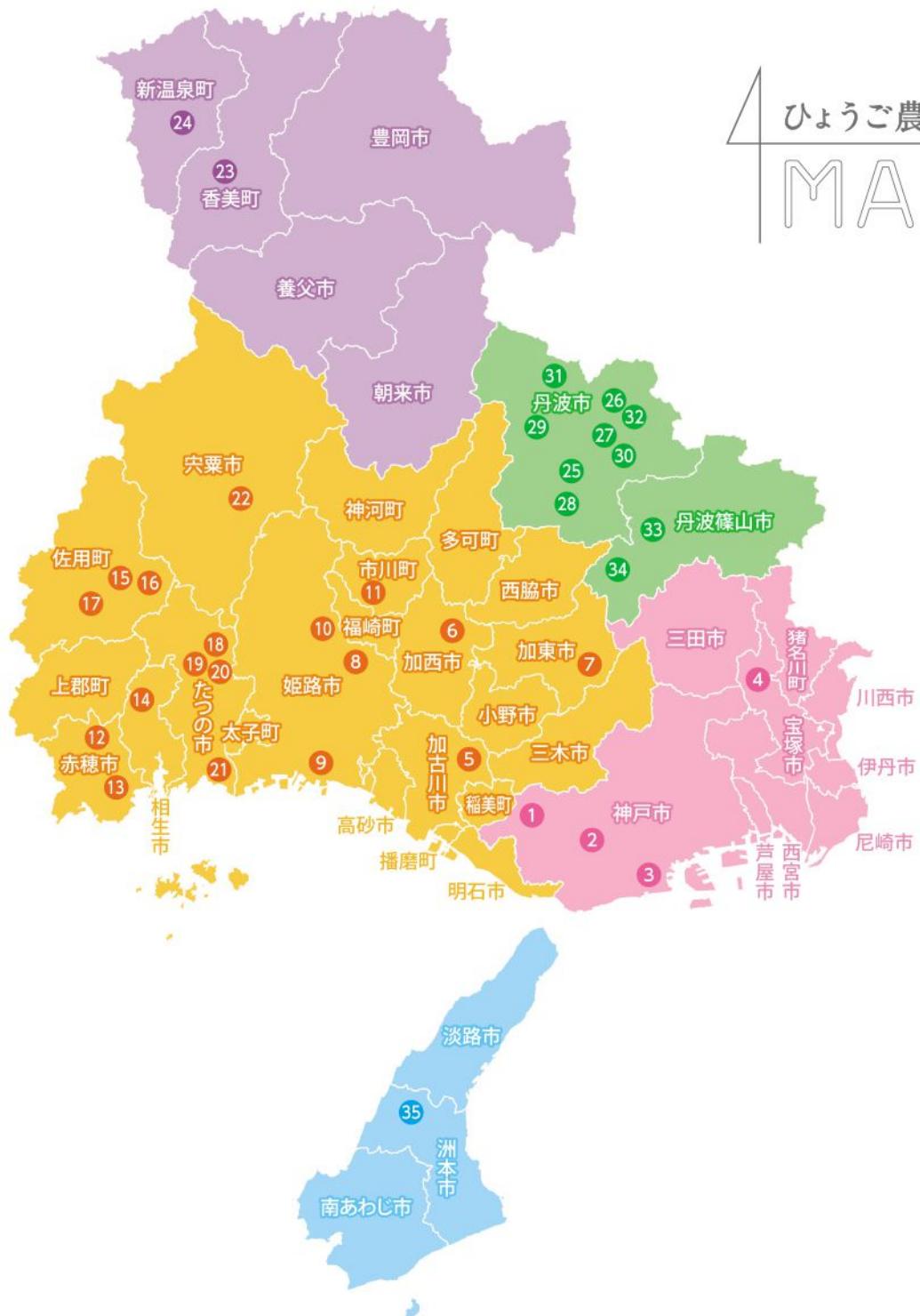


新しい農業のカタチを
常に模索しています

小山田村農場 株式会社チューリップハウス農園 代表取締役社長 高詰 雅秀さん

農業の将来を見据えて、農業法人の新しい姿を創造していきたいと思っています。栽培面積を広げていくのはもちろんのことながら、社員の負担を増やさないよう作業効率を改善するなど、働き方改革も考えています。農業にしっかり軸足を置きながら、島内外の人々にアピールできる魅力ある商品を開発し、6次産業の分野をもっと伸ばしていきたいです。

所在地	〒656-1317 洲本市五色町鮎原小山田89
電話	0799-30-2260
FAX	0799-30-2262
HP	http://www.tulipfarm.co.jp
事業内容	農産物の生産、加工、販売、企画、レストラン事業
設立	2010年
資本金	2100万円
売上高	農業部門2000万円
従業員数	2名(役員1名・正社員1名)、パート1名



摂津

- 神戸市西区 株式会社 近藤農産
- 神戸市西区 中野ファーム 株式会社リアルエstate中野
- 神戸市長田区 特定非営利活動法人 わだち
- 宝塚市 株式会社 王珠

播磨

- 加古川市 農事組合法人 八幡宮農組合
- 加西市 株式会社 中塚農園
- 加東市 株式会社 こうせつ・たなか
- 姫路市 株式会社 香寺ハーブ・ガーデン
- 姫路市 児島園芸有限会社
- 姫路市 有限会社 村上ポートリー
- 神崎郡市川町 有限会社 環境微生物研究所
- 赤穂市 株式会社 デイリーエッグ

丹波

- 赤穂市 有限会社 米口グリーンナーセリー
- 相生市 株式会社 百姓
- 佐用郡佐用町 東徳久地区農事組合法人
- 佐用郡佐用町 株式会社 みかづきe
- 佐用郡佐用町 株式会社 山本営農
- たつの市 株式会社 ささ営農
- たつの市 株式会社 J McCoy
- たつの市 有限会社 新宮ファーム
- たつの市 株式会社 博農
- 穴粟市 一般財団法人 穴粟北みどり農林公社
- 丹波市 有限会社 井寄牧場
- 丹波市 神戸高見牛牧場株式会社
- 丹波市 有限会社 こやま園
- 丹波市 株式会社 竹岡農園
- 丹波市 有限会社 たまごの郷
- 丹波市 株式会社 パブリック・キッチン
- 丹波市 有限会社 まるきん農林
- 丹波篠山市 有限会社 ワタミファーム 丹波農場
- 丹波篠山市 株式会社 アグリヘルシーフーム
- 丹波篠山市 株式会社 丹波篠山大内農場

淡路

- 洲本市 小山田村農場 株式会社チーリップハウス農園

*本冊子掲載の企業データは2019年10月現在のものです。また、「売上高」はすべて「年間売上」です。



HYOGO AGRICULTURAL CORPORATION
GUIDE BOOK

問い合わせ先

インターンシップの
問い合わせもこちら

● (一社) 兵庫県農業会議・
ひょうご就農支援センター「就農相談窓口」

相談日 月曜～金曜
(祝祭日、年末年始(12/29～1/3)を除く)

相談時間 9:00～11:00、13:00～16:00
(事前に電話で予約をお願いします)

交通 JR元町駅・阪神元町駅から徒歩5分、
神戸市営地下鉄県庁前駅から徒歩2分

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-15-3
兵庫県農業共済会館3階

TEL:078-391-1222 FAX:078-391-8755
<http://www.hyogo-shunou.jp/>



● 兵庫県農政環境部農政企画局 農業経営課(担い手対策班)

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL:078-362-3406 FAX:078-362-9394
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/org/nogyokeiei/>



発行 兵庫県農業経営法人化推進協議会

(一社) 兵庫県農業会議・兵庫県農政環境部

